

4. 密集住宅市街地と空き家・空き地施策を一气呵成に展開し、「新たな動態」を受けとめる暮らしやすいまちづくり施策を展開

“子育て世帯の流入促進にあたって、他の同様の地区との熾烈な競争を勝ち抜くには、他の地域にはない独自の施策が必要”

“比較的低廉な地価に比して利便性が高いという西成区の強みを生かすこと。若者や外国人世帯をはじめ現在流入している多様な子育て世帯（予備軍を含む）を受け止めること。そして多くの若者層が西成区で子育てをしたいと思うような、また愛着を持ってもらう取り組みが必要”

“この地に根付いている文化を再構築したブランディングが重要、ブランディングやアクティビティを活用することで、子どもや若者に将来を示し、自己実現や誇りを創出する居場所づくりにつながる”

※大阪市戦略会議

市政運営の基本方針、重要施策その他の市政の重要事項について、都市経営の観点から迅速かつ戦略的に決定し、市政を総合的かつ効率的に推進するため設置された会議

（２）第三期西成特区構想のめざすところ

「大阪市人口ビジョン」では、仮に、出生率の増加と転入超過傾向の維持を前提とすると、「2045年の大阪市の人口は現状の水準で維持される」となっている。

西成区は、出生率の低下と高齢者の死亡により、年間 2,000 人以上の急速な自然減に直面しているが、転出入は、過去 10 年間にわたり転入超過（社会増）となっている。なお、令和 2 年度は 1,540 人の社会増であり、転入者数は 8,104 人となっている。

有識者提言や全市的な人口の将来予測、人口減少のスピードが特区構想開始時と比べ鈍化している西成区の人口動態を踏まえ、第三期西成特区構想では「転入をさらに増加させて転出を減少させる取組により、人口減少に歯止めをかける、とりわけ「若年層の転入増加」と「子育て世帯の転出減少」をめざす」こととする。

そのために、「まちの活力の源」である人口について、自然減をカバーする社会増の達成に向けて、「子育て」、「教育」の再構築を行うとともに、「観光 にぎわい」、「まちづくり」に取り組み、検討し、西成特区構想のめざすところの「まちの活性化・イメージアップ」、「若者や子育て世帯の流入促進」の実現に向けて、令和 9 年度末までの 5 年間で計画の期間として取組を進めていく。

第三期西成特区構想のめざすところ

転入のさらなる増加と、転出の抑制により**人口減少に歯止めをかける。**

とりわけ**「若年層の転入増加」と「子育て世帯の転出減少」**をめざす。

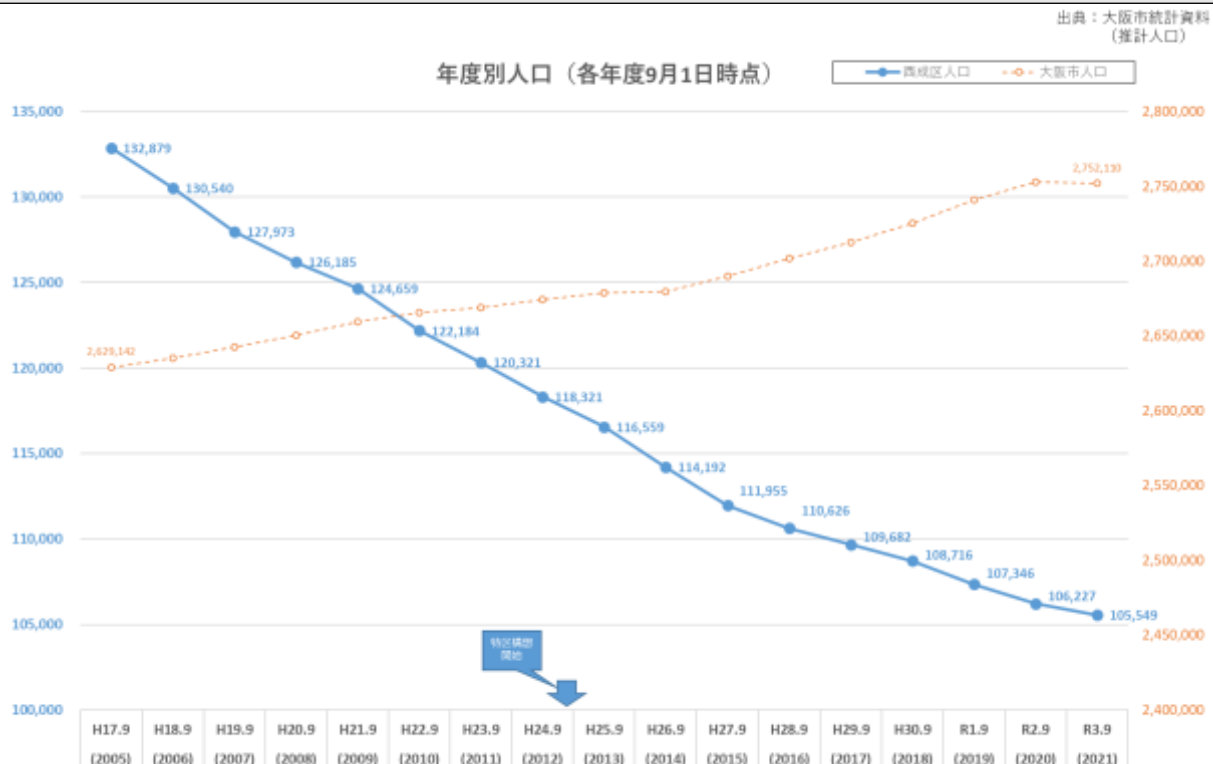
① 人口動態を踏まえた現状分析

西成区の人口は、平成 17 年からの推移を見ると減少の一途をたどり、約 13.2 万人の人口が現在では約 10.6 万人と約 20%の減少となっている。

国の社会保障・人口問題研究所が平成 30 年に公表した推計では、西成区の人口は 2045 年には約 5.9 万人まで大幅に減少すると予想されている。

西成区では、出生数は年々減少しており、2019 年の出生率は人口千人あたり 3.7 人と 24 区で最も低くなっている。また、65 歳以上の高齢者の占める割合も 24 区で最も高く、自然減による人口減少が急速に進行している。

- 西成区の人口は2005年から2021年の間で年々減少し、16年間で133千人から106千人まで減少している（27千人減、約20%減）。
- 人口の減少のスピードは年々鈍化している。



一方で、転出・転入に着目すると、西成区は2011年以降で見ると、転入超過の状況が続いており、近年では約7,000人が西成区に転入している。

2020年の転入・転出者数を年代別で見ると、転入・転出ともに20代で最も多く、転入で全体の約36%、転出で約35%を占めており、578人の転入超過となっているが、0～19歳までは転出が超過する状況で、0～9歳で58人減、10代で16人減となっている。20代の人口増については、海外からの留学生や技能実習生、就職や進学タイミングで親元を離れて独立した10代後半から20代前半が、交通至便で家賃が安い西成区に流れ込み、新たに生活を始める場所となりつつある、ととらえることができる。

10代の年齢別の人口減については、小学校就学のタイミングとなる5歳から6歳での減少が顕著であり、0歳から5歳までの各層でも減少している。

また同時に、親世代と思われる20代後半から30代の層でも人口が減っており、こどもが就学するまでのタイミングで、子育て世代が「子育てに適した住環境」を求めて、「子育て・教育環境が充実したイメージ」が強い西成区外へ転出していることが推察される。

令和2年度の区民アンケート結果報告書では、「西成区は安心して子育てができる環境が充実していますか」という問いに対して、全年齢層で「思わない」、「どちらかといえば思わない」との回答が「思う」、「どちらかといえば思う」を上回っている。

また、「安心して子育てできない理由」として、「自然環境が良くない」、「事故や犯罪数の多さ」、「子どもの遊び場が少ない」、「子どもが安全で安心して過ごせる居場所が充実していない」といった項目が選ばれている状況からも、西成区在住者についても子育てに関して課題があると感じている。

このような西成区の人口動態や住民の意識を踏まえ、目標の達成に向けて次の方向性のもと、取組を進めていく。

- 大阪市全体では直近 10 年転入超過（社会増）となっている。
- 西成区も同様に直近 10 年間転入超過となっている。（転入超過は都心 6 区と淀川区、西成区のみ）

24 区の比較

・転出入の推移

(人)

・転入者数の推移

(人)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
大阪市	8,777	7,742	8,729	7,162	11,662	9,474	10,691	12,081	13,762	16,802
都島区	-44	1,030	17	40	37	1,003	723	285	730	272
福島区	1,477	1,002	960	327	497	653	808	1,355	2,214	621
此花区	654	167	120	-177	16	-234	-132	-224	-555	27
西区	1,338	1,199	1,212	1,515	2,333	2,083	1,327	1,701	1,646	1,327
港区	-491	-743	-552	-121	-126	-331	-150	-34	-320	137
大正区	-404	-500	-294	-379	-416	-67	-12	-370	-320	-257
天王寺区	909	1,215	985	599	905	907	491	726	1,258	1,140
浪速区	1,076	966	1,237	1,109	1,658	317	576	-22	1,394	1,305
西淀川区	-150	-265	-342	-342	25	-56	75	132	-165	275
東淀川区	130	-49	-829	-919	-273	-69	288	460	968	801
東成区	480	241	89	-55	299	360	1,028	-52	-1,140	238
生野区	-313	-254	-248	-352	-178	130	209	205	71	499
旭区	-239	-18	30	-162	176	22	144	320	196	481
城東区	-245	-228	-340	690	777	617	617	859	1,056	506
阿倍野区	802	631	1,235	602	773	369	392	390	995	434
住吉区	208	-18	-5	-157	164	-154	-244	66	188	416
東住吉区	-91	-48	117	233	315	343	549	472	1,515	1,335
西成区	817	685	776	268	158	265	844	817	449	1,540
淀川区	237	565	632	501	761	1,305	1,021	1,457	911	1,499
鶴見区	23	-182	-230	-185	6	-81	-423	-77	27	298
住之江区	-720	-439	-684	-774	-835	-243	-169	124	-73	-346
平野区	-501	-431	-752	-598	-577	-410	-333	-1,256	-1,258	-1,297
北区	1,996	1,751	2,856	2,497	2,571	1,408	2,534	3,551	2,301	2,563
中央区	1,828	1,465	2,739	3,002	2,596	1,337	528	1,196	1,674	2,988

過去10年間で流出超過の年がある区

マイナス

プラス

	2018	2019	2020
大阪市	181,029	187,669	191,381
都島区	6,785	7,097	6,759
福島区	6,863	7,904	6,354
此花区	3,002	3,100	3,493
西区	10,691	11,090	10,933
港区	4,136	3,988	4,399
大正区	2,194	2,232	2,340
天王寺区	6,273	6,961	6,928
浪速区	9,092	10,213	10,966
西淀川区	5,121	5,192	5,446
東淀川区	11,134	11,574	11,788
東成区	6,384	6,265	6,645
生野区	7,533	7,717	8,236
旭区	4,827	4,783	5,132
城東区	9,789	9,833	9,495
阿倍野区	6,448	7,058	6,699
住吉区	7,762	8,101	8,006
東住吉区	7,046	7,828	7,846
西成区	6,950	6,944	8,104
淀川区	13,838	13,906	14,626
鶴見区	5,097	5,088	5,121
住之江区	5,184	5,032	4,977
平野区	7,406	8,088	7,536
北区	14,648	14,283	14,467
中央区	12,826	13,392	15,085

- 年代別で見ると、増加しているのは 20 代の若者世代であり、0～19 歳までは減少傾向にある。

西成区の年齢別・性別ごとの転入転出者数（2020 年）

(人)

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳他	合計
全体・転入	205	298	2,882	1,246	1,011	972	1,490	0	8,104
全体・転出	263	314	2,304	1,121	870	648	1,043	1	6,564
合計	-58	-16	578	125	141	324	447	-1	1,540
男性・転入	94	155	1,591	830	788	813	1,144	0	5,415
男性・転出	133	176	1,250	719	630	531	720	1	4,160
男性合計	-39	-21	341	111	158	282	424	-1	1,255
女性・転入	111	143	1,291	416	223	159	346	0	2,689
女性・転出	130	138	1,054	402	240	117	323	0	2,404
女性合計	-19	5	237	14	-17	42	23	0	285

- 小学校就学前までの年齢で転出超過による減少が進んでおり、特に小学校就学のタイミングが顕著である。
- 親世代と思われる20代後半でも減少が多い傾向にある。
- 18～20代前半の若者世代の増加が顕著である。

年齢別人口の経年変化

(人)

基準日	0→1	1→2	2→3	3→4	4→5	5→6	6→7	7→8	8→9	9→10	10→11	11→12	12→13	13→14	14→15	15→16	16→17
2020→2021	-19	-16	-13	3	-1	-8	5	1	-3	-1	-6	-3	-1	0	11	4	4
2019→2020	5	-8	-4	-4	-2	-16	-2	0	-7	-2	-6	3	7	-3	7	-3	-2
2018→2019	-21	-19	-11	-11	2	-12	-4	-8	12	-6	-1	-12	0	-5	-8	2	4
2017→2018	-5	1	-1	-16	2	-18	-2	-1	-3	-7	-4	2	8	6	9	5	0
2016→2017	-15	-4	1	-8	-2	-13	-7	-7	3	8	-2	-9	-2	-1	-11	7	-7
2015→2016	-17	-21	-14	-16	-14	-24	-7	-8	2	-1	1	-7	-1	-3	-3	5	5
2014→2015	-5	-10	-14	-15	-1	-12	0	-3	-1	-5	1	-1	4	-4	8	-1	9
2013→2014	-4	-11	-12	-11	8	-6	-13	-14	-1	-2	0	7	3	9	9	2	-1
2012→2013	14	30	17	19	8	4	21	14	21	16	9	27	27	24	28	33	50
2011→2012	-10	-5	1	-5	-6	-9	1	-3	8	-5	1	-9	-1	5	6	7	3

基準日	17→18	18→19	19→20	20→21	21→22	22→23	23→24	24→25	25→26	26→27	27→28	28→29	29→30	30→31	31→32	32→33	33→34
2020→2021	38	150	159	165	73	60	56	120	33	57	-10	-13	-27	33	9	2	17
2019→2020	22	214	139	67	90	43	71	35	16	47	-14	-23	8	-18	-1	-10	-23
2018→2019	58	231	182	54	81	14	49	44	-3	-4	3	-18	-21	-18	-13	0	-6
2017→2018	29	110	107	122	112	109	93	15	17	1	9	10	16	-23	-13	13	-12
2016→2017	70	157	90	90	114	53	77	66	-38	18	-21	15	-5	-32	-27	-7	-16
2015→2016	34	117	58	35	81	78	68	62	21	9	-24	-10	-25	-7	-24	-22	-24
2014→2015	38	85	38	34	38	59	40	-12	-3	-35	-35	-19	-38	1	4	18	-35
2013→2014	19	30	31	26	23	23	11	-11	-31	-14	2	-40	-20	-23	-19	-38	-17
2012→2013	61	98	116	101	127	184	175	134	139	80	96	102	76	73	102	87	77
2011→2012	-6	10	9	19	17	2	21	-15	19	-7	-44	-36	-31	6	-3	-17	-17

マイナス

プラス